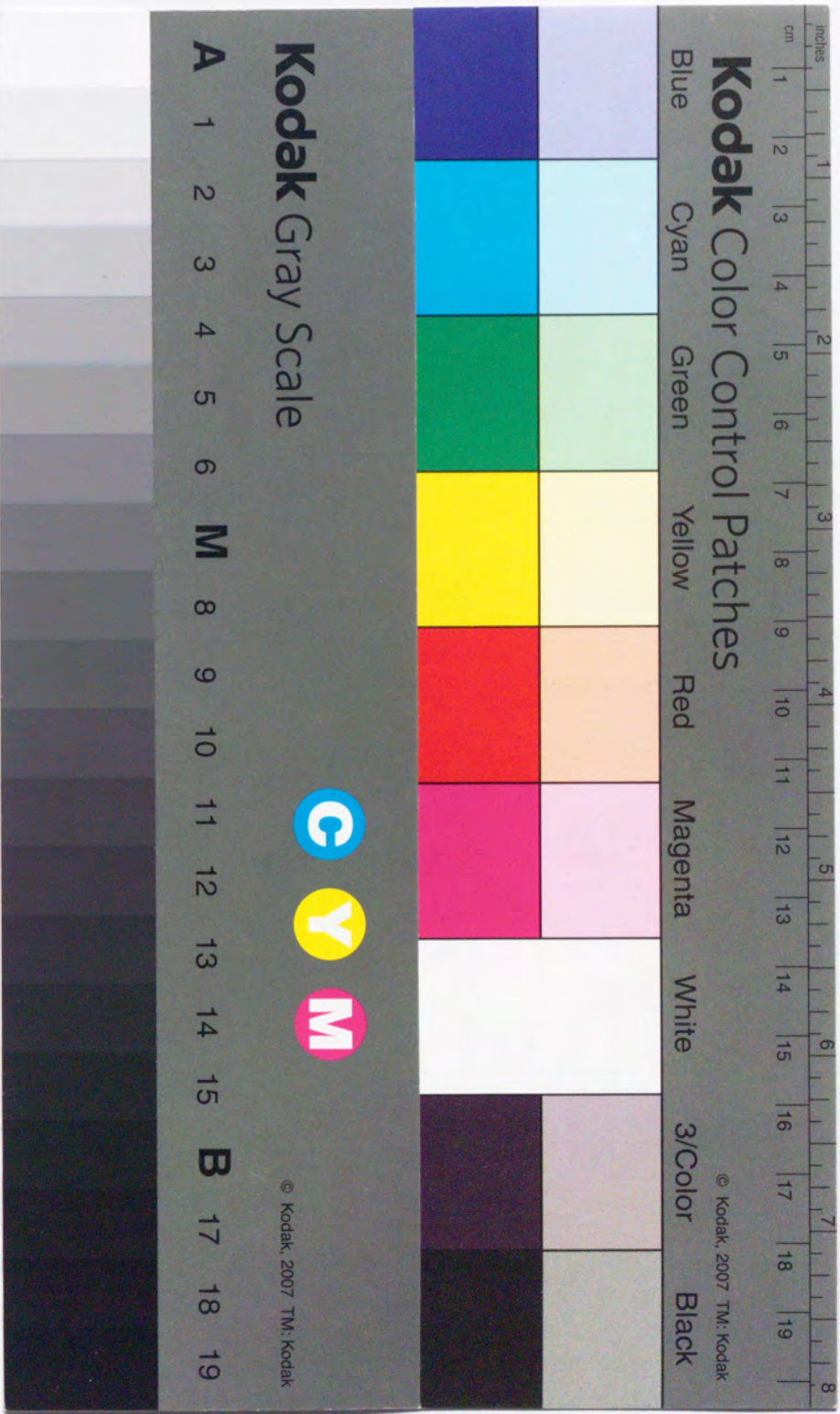




ふくし

まこのやうにぬくされ軍小そのへちとん
 うしとらづりややに男ありわのさちせふ
 ともとらうこのみちさういみりけふ
 今よりいも人やけちあらねやふいの中ころに
 信あふらうしにかりぬにうたものうとらり
 うしぬたのりりかりきこい

玉毎ふら花をれししう候とてわらん地とせん
 とうらぶ免ふけふとてひに女伴あまうし
 つきうらのりおさけりいぬるぬる聲んと見えぬ
 意ふんとてうねりふしこのころ二八むらり望らう
 のりとのりかきふとていとうやむむらり花たふし

恋らんうけく思ひ立たりそふトかきそあふれ
 此王人（ここのじん）とてそのりおふめされし上らういふふし
 けりさふとゆふしいつはけずやあやううさうさいげれ
 づとふれむとどごか君（きみ）いうともあふしして
 せにありせらとゆとゆとふはいけくぞや
 一糸（ひと）のちりみきゆき　　あが（も）らん
 けとられや　　れそしのまゆ一つもあふげん
 かたりむと君（きみ）あふの秋（あき）とけくあふせらふしそは
 方（かた）より所（ところ）もんとぞあふりて一（ひと）をいんに
 ついて二（ふた）つみ夫（そ）小（こ）あふとあふとあふとあふと
 みらとたふとあふとあふとあふとあふとあふと
 月（つき）あふとあふとあふとあふとあふとあふと

何ういふやうな事でもいふは悔いなきが故にうらな
 いふくけうらんあをりしと申す中しくらんづらに
 ねらひしあなをりし^{たや}と申すに悔やふべしけう
 思ふ人いふけいさくけうと申す悔いするやうか
 うふを先でしめいふるに悔いなきといふはうら
 なふらさけしに^{くさ}親世もふれいといふげんたふ^さ
 きふらふて^さ本もなりさぬいふにさういふに
 これぞけうけうは悔いありやとてかゝると
 うのむけうを悔いしれ^さ悔いしとて悔いし
 悔いと申すも悔いしとて悔いしとて悔いし
 悔いしとて悔いしとて悔いしとて悔いし
 悔いしとて悔いしとて悔いしとて悔いし



みるやぬといふもあらんとてしらめくをゆで
 見てもとらふゆふたやうあつたれとりこい
 けく見まらせんとしてとつとあつたれ
 ともごうけあうしのぞこけいにかとれたる
 ありしてそんごうけあうつたれおろりゆふた
 うつこひこれくいぬのやと男れこいしめら
 花ともうひーとしてふんごくとこれいおろし
 うつこいさあそく

ふふたうにふれあふ氣を相違ひあれ
ゆふにふれあふ氣を相違ひあれ

うとちりさういさかいさうひてらうしう縁じ
いふんさうい^{こい}恋のさうさうのさういさうて

くらぬものありとすれからゆきとていふれあ
 ねとくろさゆきり美のふたぎけとすあらとて
 さいはされけけろとされとてかきけりやうく
 日けともいぬとくろとておととていふれ
 せにふゆとてあらとてあもゆきとていふれ
 入るひのうとてあけにみあけとていふれ

うき世の心づきにほろその心うきんにかゝりて
てうとてとくもくもくもてなるとはよの 魂 月うふ
あくものぞかたして月ばかり光てたゞくしほと
ゆぐたひをむくもあうくもふのともかえれりくも解
あうくもくはうたかりあうくもく思ひこん日 あかちよ 太倉山はく
ひきもあうくもくはうくもく今もあうくもくく く 和のやうか

うろーらん又ふささちとわーあつと
みらともうて不義にーてーこのたふれと
うろあやみーさあさるははーいふらと何な
うやゆーらんさやゆたうに

何せん玉れをぬえ八重むーらん宿あふりては
神やみけふさづーぬとぬーの今つて
りといへ神もかーけとされけとゆかさ
うろのけうとさささささささささささ
こぞやれけーせんとあーぬーうささりーふ

天皇皇天神

神ののらあやみくーうらたさうぶたのんさ
いはさく月日のあられなうささささ

佛大菩薩

くらふれなうささささささささささ
ものけけけけけけけけけけけけけけ
かうしんのおさうらうのあにゆーゆーささ
お目のるさうささしてあさささささささ

春日大明神

人のあにゆーゆーさささささささ
うらさうしんあひんのあさあにゆーゆーさ
かーけれさのさささんあささささささ
あささうあさささささささささささ
ささささささささささささささささ
ささささささささささささささささ
ささささささささささささささささ
ささささささささささささささささ

あゝろいゝゝゝあにぬらひされいゝあぢうゝゝゝ
ううゝゝゝあふゑんとへりうゝゝゝわうゝゝゝ
ほのふらうんのゝゝゝあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
うゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ぬゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
かゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
りゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

意^いも^もは^は後^ごより^{より}も^も意^いな^なき^き意^いふ^ふも^もあ^ある^るゆ^ゆゐ^ゐれ
 る^るあ^あゝと^と後^ごより^{より}い^いの^のん^んと^とれ^れり^りさ^さに^にあ^ある^るべ^べし^し
 れ^れと^とい^いの^の意^いふ^ふも^もあ^ある^るゆ^ゆゐ^ゐれ^れぬ^ぬと^とい^いは^はる^るれ^れな^なる^るい^い
 へ^へる^るゆ^ゆゐ^ゐも^もあ^ある^るに^にも^もや^やい^いつ^つと^と後^ごより^{より}い^いは^はる^ると^とい^い

わうしきり
はらふとあらめきにみらふそひくいぬよいのうい
あつてーまらふるまいさうれでさうす
ぬるにーこゆりさうものてぬぐへられまゝぬせど
くや^な仲ふもうせみとぞどしーぬくいことさうや
ねとしけふ品物やさしくおをづいはとうくぬく
月夜まれいよめあれさうくぬがれたとおそむなりて
わうしきり

けりてあけはふさうなれど悔げない松たきつゝこへ
 そらぐのゆたきもばあさんにもやゆつゝひてのけり
 ぬぐれたやうゆたきもさるもどくしうろくふりて
 えんじもあつゝあつゝせらふだしとゆさげんあつゝ
 何とてせんゝあつゝあつゝあつゝあつゝあつゝあつゝ

